

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2019年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 練習について

(1) 競技場内での練習はバックスタンド裏側練習走路、競技開始前下記の時間はトラックでの練習を可とする。

5月10日(金) トラック 14:30~16:30

5月11日(土) トラック 11:30~12:30 (ハードル 第1曲走路 6~9レーン)

※招待小学男女4×100mリレーの練習は、第2曲走路 6~9レーンを利用する。

5月12日(日) トラック 8:00~9:40 (ハードル ホームストレート 6~9レーン)

※バックスタンド裏側練習走路でのスプリント走は北側から南側への一方通行とする。

(2) 跳躍種目、投てき種目の練習は、招集完了後、競技役員の指示に従って行うこと。

3. 競技場の開閉門について

	5月10日(金)	5月11日(土)	5月12日(日)
開門	14時30分	9時30分	8時00分
閉門	20時30分	18時00分	16時30分
備考	・メインスタンドは開放しない (雨天の場合は開放)	—	—

※競技場1階正面玄関にて競技者受付(ナンバーカード、プログラム、参加賞等の配布)を行う。

4. 招集について

(1) 招集所は、メインスタンド下室内練習場正面玄関側(競技者受付場所に入って左側すぐ)に設ける。

(2) 各種目の招集開始時刻・完了時刻は、競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

	トラック	フィールド
開始時刻	30分前	50分前
完了時刻	20分前	40分前

※但し、棒高跳びは60分前に完了すること

男:12時00分~12時10分
女:14時20分~14時30分

(3) 招集の手順

① 招集開始時刻に競技者係の点呼を受ける。その際、ナンバーカード、スパイクの点検を受ける。同時にトラック種目出場者は「腰ナンバーカード」を受け取り、右腰やや後方に付けること。(5000m以上の種目については、左右に付けること)

② 点呼に代理人は認めない。ただし、2種目同時に兼ねて出場する競技者は、事前に本人が競技者係に申し出ること。

③ 招集完了時刻に遅れたものは、欠場したものとして処理する。

(4) リレー種目について

① リレーオーダー用紙は、招集完了時刻1時間前までに、競技者係に提出すること。

(リレーオーダー用紙はプログラム巻末の用紙を使用すること)

② 点呼は4人全員で受けること。

(男女4×400mリレーは代理人1名のみ点呼を可とする)

③ リレーマーカーは出場チームで用意し、使用したマークは、使用后各チームの前走者が必ず取り除くこと。

④ 招待小学リレー種目の決勝進出は8チームとする。

(5) 欠場する場合は、プログラム巻末の欠場届を招集開始前に競技者係に提出するか、ホームページで公開されている欠場届をメールまたはFAXでも受付ける。その際、締切日には注意すること。

(6) 招集所からスタート地点・跳躍場・投てき場への移動は、競技者係の指示に従うこと。

5. 競技進行について

(1) 競技について

① 予選におけるトラック種目のレーン順、フィールド種目の試技順は、プログラム記載の番号順とする。

② トラック種目、フィールド種目にまたがって同時時間帯に出場する場合は、フィールド競技役員にその旨を申し出て、トラック種目を優先して出場することを原則とする。

③ 決勝の組合せ及びレーンは主催者が抽選し、記録掲示板(競技場1階正面出入口付近)及び招集所に掲示発表する。

④ トラック競技における次のラウンド進出者のプラスの決定について、その最下位で100分の1秒単位で同記録があった場合、1000分の1秒で着差判定をして進出者を決める。着差がない場合でレーン数に余裕があ

れば同記録の者は次のラウンドへ進出できる。レーン数の不足する時は抽選する。

- ⑤ 5000mWの競技者は、32分を過ぎて新たな周回に入ることはいない。
 - ⑥ スパイクのピンは、9mm以下のものを使用する。ただし、走高跳・やり投については、12mm以下とする。本数は11本以内とする。
 - ⑦ ナンバーカードは配布された大きさのままで、ユニフォームの胸部と背部に付けること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部だけでよい。
(招待小学生リレーは、主催者が1枚配布するナンバーカードを胸部につけること)
 - ⑧ トラック種目出場者は、腰ナンバーカードを競技者係から受け取り、レース終了後すぐに腰ナンバーカード回収係に返却すること。
- (2) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方について

跳躍競技

走高跳	男	決	練習 1m75	1m80-85-90-95-2m00-05	以降 3cm ずつ上げる
	女	決	練習 1m50	1m55-60-65-70-75	以降 3cm ずつ上げる
棒高跳	男	決	練習 3m90	4m00-10-20-30	以降 10cm ずつ上げる
	女	決	練習 2m80	2m90-3m00-10-20	以降 10cm ずつ上げる

※ 同記録による1位決定のバーの上げ方は、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

6. 競技用具について

- ① やりは、個人所有の使用を認める。
- ② やりは、競技開始60分前までに正面スタンド南側（フィニッシュ地点側）の用器具庫に提出し検査を受けること。

7. 抗議について

抗議は、日本陸上競技連盟競技規則により、総括総務員へ申し出るものとする。

8. 表彰について

- ① 各種目の第3位までの入賞者を表彰する。成績発表後直ちに、入賞者控所（競技場正面ホール）に集合すること。
- ② 強化委員会にて、最優秀選手、敢闘選手、新人賞を選考し賞を与える。
- ③ 最優秀選手には毎日新聞社杯を授与する。

9. その他

- (1) 部旗、横断幕などの使用は、メインスタンド中段より上部、およびサイド・バックの各スタンド上部通路より上に張ること。ただし、競技運営などに支障のある場合は、撤去又は移設を指示する場合がある。
- (2) 各スタンドおよび2階コンコースにおいてシート、部旗、横断幕等については、毎日撤去して持ち帰ること。
- (3) テントは、正面スタンド中央通路より上段の屋根のない部分とバックスタンドおよびサイド芝スタンドの上側に設置を認める。ただし、競技運営などに支障のある場合は、撤去又は移設を指示する場合がある。
- (4) 記録は、記録掲示板（競技場1階正面出入口付近）に掲示する。
- (5) 更衣は更衣室を利用し、貴重品は各自で責任を持って管理すること。
- (6) 競技中に発生した傷害・疾病については、本部の医務室で応急処置のみ行う。
- (7) スタンドでの応援エリアは、黄色のテープで制限した範囲内とする。ただし、以下の競技種目の応援については、第2コーナーから第4コーナーまでのバックスタンド側での応援を認める。
 - ・大会1日目（金）：全種目（男女10000m、女子J3000m、招待中学男子3000m）
 - ・大会2日目（土）：男5000m2組、3組
 - ・大会3日目（日）：女5000m、男女4×400mリレーただし、フィールド競技終了後とする。
また、ハイヒールなどグラウンドを傷つける可能性がある履物は禁ずる。
- (8) スタンド及び競技場内使用後は清掃し、ゴミは「カン・ペットボトル」、「ビン」、「その他ゴミ」に分別して、決められたゴミに投入してください。
- (9) 携帯電話等の情報機器の競技場内への持ち込みは禁止する。（招集所でチェックする）
- (10) 撮影許可希望者は競技者受付（正面玄関）で許可を受けて下さい。
撮影許可証は11日（土）、12日（日）のみ、1枚100円／2日間にて発行します。
土曜日申請された方は翌日申請不要。撮影許可証は首に掛けて携行すること。